

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成21年1月8日(2009.1.8)

【公表番号】特表2008-525576(P2008-525576A)

【公表日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-028

【出願番号】特願2007-548227(P2007-548227)

【国際特許分類】

C 08 L 77/00 (2006.01)

C 08 L 71/12 (2006.01)

C 08 K 3/04 (2006.01)

C 08 K 3/34 (2006.01)

【F I】

C 08 L 77/00

C 08 L 71/12

C 08 K 3/04

C 08 K 3/34

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月14日(2008.11.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリ(アリーレンエーテル)及びポリアミドの相溶化ブレンド、

カーボンブラック、並びに

鉱物質充填材

を含んでなり、ポリ(アリーレンエーテル)が粒子としてポリアミドマトリックス中に分散しており、95%以上のポリ(アリーレンエーテル)粒子が2.5平方マイクロメートル以下の断面積を有している、組成物。

【請求項2】

95%以上の粒子が2.0平方マイクロメートル以下の断面積を有する、請求項1記載の組成物。

【請求項3】

95%以上の粒子が1.5平方マイクロメートル以下の断面積を有する、請求項2記載の組成物。

【請求項4】

組成物がさらに耐衝撃性改良剤を含んでいる、請求項1記載の組成物。

【請求項5】

ポリ(アリーレンエーテル)及びポリアミドの相溶化ブレンド、

カーボンブラック、並びに

鉱物質充填材

を含んでなり、ポリ(アリーレンエーテル)が粒子としてポリアミドマトリックス中に分散しており、その粒子が3.2マイクロメートル以下の最大粒径を有している、組成物。

【請求項6】

最大粒径が3.0マイクロメートル以下である、請求項5記載の組成物。

**【請求項 7】**

最大粒径が 2 . 8 マイクロメートル以下である、請求項 6 記載の組成物。

**【請求項 8】**

組成物がさらに耐衝撃性改良剤を含んでいる、請求項 5 記載の組成物。

**【請求項 9】**

ポリ(アリーレンエーテル)及びポリアミドの相溶化ブレンド、

カーボンブラック、並びに

鉱物質充填材

を含んでなり、ポリ(アリーレンエーテル)が粒子としてポリアミドマトリックス中に分散しており、95%以上のポリ(アリーレンエーテル)粒子が 2 . 0 平方マイクロメートル以下の断面積を有しており、粒子が 3 . 0 マイクロメートル以下の最大粒径を有している、組成物。

**【請求項 10】**

相溶化ポリ(アリーレンエーテル)を押出機の供給口に添加し、

供給口の下流でポリアミドを添加し、

ポリアミド及びカーボンブラックを含んでなる第1のマスターバッチを供給口の下流で添加し、

ポリアミド及び鉱物質充填材を含んでなる第2のマスターバッチを供給口の下流で添加する

ことを含んでなる、熱可塑性組成物の製造方法。

**【請求項 11】**

熱可塑性組成物がポリ(アリーレンエーテル)の粒子を含んでおり、95%以上のポリ(アリーレンエーテル)粒子が 2 . 5 平方マイクロメートル以下の断面積を有しており、粒子が 3 . 2 マイクロメートル以下の最大粒径を有している、請求項 10 記載の方法。

**【請求項 12】**

ポリ(アリーレンエーテル)、相溶化剤、及び耐衝撃性改良剤を含んでなる混合物を押出機の供給口に添加し、

ポリアミド及びカーボンブラックを含んでなる第1のマスターバッチを供給口の下流で押出機に添加し、

ポリアミド及びタルクを含んでなる第2のマスターバッチを供給口の下流で押出機に添加する

ことを含んでなり、熱可塑性組成物がポリ(アリーレンエーテル)の粒子を含んでおり、95%以上のポリ(アリーレンエーテル)粒子が 2 . 0 平方マイクロメートル以下の断面積を有しており、粒子が 3 . 0 マイクロメートル以下の最大粒径を有している、熱可塑性組成物の製造方法。

**【手続補正 2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0079

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0079】

引用した特許は全て援用により本明細書の内容の一部をなす。

本発明の特徴は次のとおりである。

1 . ポリ(アリーレンエーテル)及びポリアミドの相溶化ブレンド、  
カーボンブラック、並びに

鉱物質充填材

を含んでなり、ポリ(アリーレンエーテル)が粒子としてポリアミドマトリックス中に分散しており、95%以上のポリ(アリーレンエーテル)粒子が 2 . 5 平方マイクロメートル以下の断面積を有している、組成物。

2 . 95%以上の粒子が 2 . 0 平方マイクロメートル以下の断面積を有する、上記 1 の

組成物。

3 . 95 % 以上の粒子が 1 . 5 平方マイクロメートル以下の断面積を有する、上記 2 の組成物。

4 . 組成物がさらに耐衝撃性改良剤を含んでいる、上記 1 の組成物。

5 . カーボンブラックの量が組成物の 0 . 001 ~ 5 wt % である、上記 1 の組成物。

6 . 鉱物質充填材がタルクからなる、上記 1 の組成物。

7 . ポリ(アリーレンエーテル)及びポリアミドの相溶化ブレンド、

カーボンブラック、並びに

鉱物質充填材

を含んでなり、ポリ(アリーレンエーテル)が粒子としてポリアミドマトリックス中に分散しており、その粒子が 3 . 2 マイクロメートル以下の最大粒径を有している、組成物。

8 . 最大粒径が 3 . 0 マイクロメートル以下である、上記 7 の組成物。

9 . 最大粒径が 2 . 8 マイクロメートル以下である、上記 8 の組成物。

10 . 組成物がさらに耐衝撃性改良剤を含んでいる、上記 7 の組成物。

11 . カーボンブラックの量が組成物の 0 . 001 ~ 5 wt % である、上記 7 の組成物。

。

12 . 鉱物質充填材がタルクである、上記 1 の組成物。

13 . ポリ(アリーレンエーテル)及びポリアミドの相溶化ブレンド、  
カーボンブラック、並びに

鉱物質充填材

を含んでなり、ポリ(アリーレンエーテル)が粒子としてポリアミドマトリックス中に分散しており、95 % 以上のポリ(アリーレンエーテル)粒子が 2 . 5 平方マイクロメートル以下の断面積を有しており、粒子が 3 . 2 マイクロメートル以下の最大粒径を有している、組成物。

14 . 組成物がさらに耐衝撃性改良剤を含んでいる、上記 13 の組成物。

15 . カーボンブラックの量が組成物の 0 . 001 ~ 5 wt % である、上記 13 の組成物。

16 . 鉱物質充填材がタルクからなる、上記 13 の組成物。

17 . 95 % 以上のポリ(アリーレンエーテル)粒子が 2 . 0 平方マイクロメートル以下の断面積を有しており、粒子が 3 . 0 マイクロメートル以下の最大粒径を有している、上記 13 の組成物。

18 . 相溶化ポリ(アリーレンエーテル)を押出機の供給口に添加し、  
供給口の下流でポリアミドを添加し、

ポリアミド及びカーボンブラックを含んでなる第 1 のマスターバッチを供給口の下流で添加し、

ポリアミド及び鉱物質充填材を含んでなる第 2 のマスターバッチを供給口の下流で添加する

ことを含んでなる、熱可塑性組成物の製造方法。

19 . 熱可塑性組成物がポリ(アリーレンエーテル)の粒子を含んでおり、95 % 以上のポリ(アリーレンエーテル)粒子が 2 . 5 平方マイクロメートル以下の断面積を有しており、粒子が 3 . 2 マイクロメートル以下の最大粒径を有している、上記 18 の方法。

20 . ポリ(アリーレンエーテル)、相溶化剤、及び耐衝撃性改良剤を含んでなる混合物を押出機の供給口に添加し、

ポリアミド及びカーボンブラックを含んでなる第 1 のマスターバッチを供給口の下流で押出機に添加し、

ポリアミド及びタルクを含んでなる第 2 のマスターバッチを供給口の下流で押出機に添加する

ことを含んでなり、熱可塑性組成物がポリ(アリーレンエーテル)の粒子を含んでおり、95 % 以上のポリ(アリーレンエーテル)粒子が 2 . 0 平方マイクロメートル以下の断面積を有しており、粒子が 3 . 0 マイクロメートル以下の最大粒径を有している、熱可塑性

組成物の製造方法。